

ごあいさつ

第34回 日本中毒学会 東日本地方会・学術集会 開催にあたって



第34回 日本中毒学会 東日本地方会・学術集会 会長
織田 順 （東京医科大学 救急・災害医学分野 主任教授）

このたび、日本中毒学会 東日本地方会・学術集会を担当させていただくこととなり、光栄に存じます。令和になって初めての本学術集会を、令和2年2月8日に、東京医科大学病院の新病院棟で開催いたします。

今回の学術集会には一般演題に25題もの多数の応募をいただきました。厚く御礼申し上げます。内容は中毒分析や調査、工業製品・化学用品中毒、自然毒、医薬品と多岐にわたります。社会的にもますます関心の高まる中毒学・中毒診療に関する充実した討論が期待されます。

特別講演として、千葉科学大学危機管理学部教授 黒木 尚長先生に、「法医解剖症例から学ぶ急性中毒対応の基本―病態と治療を含めて―」と題したご講演をいただきます。救急医学と法医学のご専門の立場より、急性中毒に関する興味深いお話を伺えると楽しみにしております。また、教育講演としては新潟市民病院薬剤部副部長 堀 寧先生に、「臨床薬毒物分析の今までとこれから」のタイトルでご講演いただきます。分析に高いご見識をお持ちの立場から分析の専門家以外にもわかりやすくお話いただけると伺っております。なおこれらはいずれも救急科領域講習の対象となります。さらに、分析ハンズオンを並行して開催いたします。分析に関して実習ができるまたとない機会ですので、ご専門の先生もそうでない方々も、ぜひお立ち寄りください。

東京医科大学病院は令和元年7月1日に新病院棟に移転したばかりです。みなさまをこの新病院の臨床講堂にお迎えできますことをとても光栄に存じあげるとともに、また楽しみにしております。本学術集会の開催につきましては様々な方面より多大なるご協力を賜りました。深く御礼申し上げます。

本学術集会が、わが国の中毒学の進歩に少しでも寄与できるよう精一杯努めて参ります。会員、非会員を問わず、どうか多くの方のご参加をお待ちしております。よろしくお願いたします。